

だれもが充実したいのちを燃やして生きることができるように!

わたしたちは、予防医学を通じて人々の「生涯健康」「健康寿命の延伸」をめざし、健康と福祉の向上に努めることにより、社会に貢献してまいります。

よぼう医学

THE NEWS OF HEALTH SERVICE

2018(平成30)年3月15日 第528号

(公財)東京都予防医学協会
予防医学事業中央会東京都支部

編集・発行人 小野良樹

発行所 〒162-8402
東京都新宿区市谷砂土原町1-2
保健会館 電話 03-3269-1131



http://www.yobouigaku-tokyo.or.jp

毎月15日発行



今月の主な紙面

- (1面) ● 第253回学校保健セミナー
今、学校で始まる「がん教育」!
● 広報紙「よぼう医学」が生まれ変わります
- (2・3面(見開き))
● 第252回学校保健セミナー
事例から学ぶ学校での集団感染の予防と対策
● 東京都予防医学協会年報2018年版 第47号
(平成28年度活動報告)が間もなく完成します
● 連載 産業医訪問(109)
- (4面) ● 第277回ヘルスケア研修会
健康経営と女性の健康
● 「東京都先天性代謝異常等検査連絡協議会」
第2回 設立準備委員会が開催
● 連載 ALCAだより(21)

第253回 学校保健セミナー

今、学校で始まる「がん教育」!

子どもたちに知識や経験を伝える 国民の健康意識の向上につなげる

日本人の死亡原因として最も多いがん。国は、がんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識を深めるには、子どもの頃からの教育が重要であるとして、学校での「がん教育」実施に向けたさまざまな取り組みを行っている。こうした中、1月23日に都内のホテルで開催された第253回学校保健セミナー(主催・東京都学校保健会、本会)では、「今、学校で始まる『がん教育』」をテーマに、東京都がん教育推進協議会の委員で、これまで多くの小・中学校、高等学校でがん教育の授業を行ってきた東京女子医科大学がんセンター長の林和彦氏(写真)が講演した。

「がん教育」こそが 対策の推進力

冒頭、林和彦氏は、がん専門医である自らが「がん教育」に取り組むことになった経緯に触れ、「患者をはじめ、多くの国民ががんについてあまりにも情報不足であると感じ、15年ほど前からがんの啓発に重点を置いて活動してきた。その過程で国の取り組みとも連携することになった」として、次のように述べた。



「2012年に策定されたがん対策推進基本計画で、がん教育の実施に向けた取り組みが目標として掲げられたことを受けて、文部科学省は14年、がんの教育総合支援事業を立ち上げ、有識者による『がん教育』のあり方に関する検討会を設置すると共に、

モデル校等で多様な取り組みを実施してきている」
林氏は、がん教育を行うに当たり、学校の仕組みや教職員の現状を理解するため、病院勤務の傍ら、特別支援学校、中学校、高等学校の教員免許を取得している。

講演では、自身がモデル校などで行っている授業風景を映し、「授業の前に必ず学校を訪問し、3つの質問(①あなたが「がん」について知っていること、感じている印象を教えてください②がん患者さんは、どんなつらさや苦し

学校と外部講師が チームとなって進める

みがあると思いませんか?③もし、大切な人が「がん」になったら、あなたには何ができるでしょうか?)に答えてもらい、生徒や地域の特性を読み取り、現場の先生と共に授業プログラムを作る上での参考にしている」と解説した。

続けて林氏は、国が進めている学校でのがん教育について、「その目的は2つ。一つはがんについて正しく理解できるようにすること。もう一つは、健康と命の大切さについて主体的に考えられるようにすることだ。前者は知識の教育で、後者は意識の教育だと考えている」と述べ、「知識の教育だけでは、医師や

「がん」になるって どんなこと?



林和彦(著)
東京女子医科大学がんセンター長
セブン&アイ出版
1400円(税別)

「がん教育」の醍醐味は、子どもたちの変容ぶりにあります。わずか45分の授業でも、子どもたちは大人顔負けの意見を持つようになります。私は、がん教育の授業を通して、自分のいのちを大切にすることを学んだ子どもたちは、いずれは他人のいのちを思いやり、国の将来をも考えられる大人になってくれると信じています。(「おわりに」より)

広報紙「よぼう医学」が 生まれ変わります

新年度から

本会は昨年3月に創立50周年を迎えました。公益財団法人としての役割を再確認しつつ、今まで以上に質の高い検査と健診、心を込めたサービスで皆様の健康づくりのお手伝いを続けてまいります。また、新たな50年に向けた取り組みの一環として、この度、広報紙「よぼう医学」を

全面リニューアルすることにいたしました。

「よぼう医学」は、1969年の創刊以来、タブロイド判で発行してまいりましたが、従来のスタイルは本号(第528号)までとし、2018年度よりデザインを一新、冊子形態でお届けします。なお、発行頻度も月刊から

は7月に発行予定です。

個人情報の取扱いについて

日頃より、東京都予防医学協会の機関紙「よぼう医学」をご愛読くださりありがとうございます。本会では、「よぼう医学」を送付させていただいている皆様について、送付に必要な情報(氏名、住所、所属、役職など)を送付名簿として保持しております。これらの個人情報の収集、保存、利用につきましては、本会の個人情報保護方針に基づき、厳重な管理の下に運用しております。送付名簿からの削除や変更を希望される場合には、お手数ですが、右記広報室までご連絡ください。

健康管理相談をお引き受けします

当センターの会員が事業所、学校、各種団体の健康管理をアドバイスいたします。

お問い合わせ・ご相談は事務局まで(予約制・無料)
健康管理コンサルタントセンター
事務局 東京都新宿区市谷砂土原町1-2
(公財)東京都予防医学協会
電話 03-3269-1141

送付先の変更・送付中止について

送付先の変更・送付中止を希望される場合には、本会広報室までお知らせください。



Eメール
koho@yobouigaku-tokyo.jp
FAX 03-3269-7562
電話 03-3269-1131
でも承っております。

第252回 学校保健セミナー

事例から学ぶ 学校での集団感染の 予防と対策

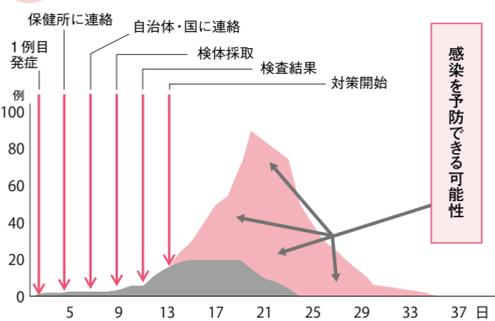
堀成美氏はまず、感染症は、対策...

去る12月14日、本格的な冬の感染症シーズンを目前に、第252回学校保健セミナー(主催・東京都学校保健会、本会)が東京・新宿区で開催された。

わかってはいるものに関して は、減らす努力をするところ...

「こうした感染症の特徴を踏まえ、学校現場の皆さんにご協力いただきたいのは、早めの対策である(図)」と堀氏は述べ、「中でも一番大事なのは保健所への相談」と...

図 迅速な対応



感染を予防できる可能性

Table 1: Infection Prevention Strategies. It lists primary prevention (vaccination, knowledge) and secondary prevention (early diagnosis, isolation, treatment).

Table 2: Infection Patterns. It lists contact (scratches, blood, etc.), droplets (influenza, etc.), and air (measles, etc.).

「こうした感染症の特徴を踏まえ、学校現場の皆さんにご協力いただきたいのは、早めの対策である(図)」と堀氏は述べ、「中でも一番大事なのは保健所への相談」と...

「こうした感染症の特徴を踏まえ、学校現場の皆さんにご協力いただきたいのは、早めの対策である(図)」と堀氏は述べ、「中でも一番大事なのは保健所への相談」と...



109

下方産業医事務所 下方 征氏

1 あなたの産業医歴は?

私は名古屋生まれの名古屋育ちで、地元の名古屋市立大学医学部に入りました。

その後、東京医科大学の皮膚科に入局しました。皮膚科で10年間経験を積んで、皮膚科の専門外来で手術や化学療法を行っていました。



2 あなたのやりたいこと、今取り組んでいることは?

学生なので診療行為はできませんが、助手として診療の手伝いや、登山者に病気をケアを予防するための講話を行っていました。

古河電気工業の統括産業医として、メンタルヘルズ法務に携わっています。

小児健康相談室のご案内

学校検診で異常を指摘された子どもを対象に、専門医によるフォローアップを行っています



前田美穂先生による『貧血電話相談室』

養護教諭・保健師・看護師からの相談をお受けします(無料) 開催日: 第1水曜日 14時半~15時半

学校検診で異常を指摘されたけれど、近くに専門医がない。医療機関の選択に困っている。軽微な異常で治療は必要ないけれど、定期的な経過観察は必要。

Table with 3 columns: Organ Disease (腎臓病), Heart Disease (心臓病), Anemia (貧血). It lists the responsible doctor, the day and time of the consultation, and the location.

検査や診断には費用がかかります(保険診療)。本会で学校検診を受けた方は、検査・健診時のデータを用いて診療や相談が可能です。

東京都予防医学協会年報 2018年版 第47号 が間もなく完成します (平成28年度活動報告)

各分野の執筆者とテーマは下記の通りです(敬称略) I 学校保健 心臓病検診 「心臓病検診の実施成績」浅井利夫...



[年報]は本会のホームページ http://www.yobouigaku-tokyo.or.jp からダウンロードできます。

実施成績 伊藤良彌(本会婦人検診部長) 乳がん検診 「乳がん検診の実施成績」坂住奈子...

第277回ヘルスケア研修会 健康経営と女性の健康

人生100年時代を見据え 性差を考慮した取り組みを

一億総活躍社会の実現に向けて、心身共に健康に働き続けられることが、新たな健康課題となっている。働く女性が増える中、職場の健康づくりの現場では女性特有の健康問題への対応が模索されている。1月31日に東京・千代田区で開催された第277回ヘルスケア研修会(主催・健康管理コンサルタントセンター、本会)では、「健康経営と女性の健康」と題し、荒木労働衛生コンサルタント事務所所長で医師の荒木葉子氏(写真)が講演を行った。



荒木葉子氏は、はじめに「100年の人生戦略をつくるためには、健康・経済・関係性の3Kが重要だ」と強調。女性と述べた。

女性の労働力率は7割を超えており、今や働く女性の問題は女性全体の問題と言え、その上で、性別・年齢階級別の受療者数や医療費、定期健診の有見率、特定健診のデータなどを示しながら、男女で大きな差があることを指摘し、次のように語った。

「例えば特定健診は、まず腹囲、つまり肥満で層別されるが、女性はそもそも肥満の割合が少ない。そして、女性での労働に関する法政策の変遷、女性の労働状況などを解説し、「20歳から64歳までの女性に、健康経営を推進する」と述べた。

「女性は労働力率は7割を超えており、今や働く女性の問題は女性全体の問題と言え、その上で、性別・年齢階級別の受療者数や医療費、定期健診の有見率、特定健診のデータなどを示しながら、男女で大きな差があることを指摘し、次のように語った。

新たなる予防医学技術の向上をめざして

第52回 予防医学技術研究会議

発表とその検討を通して、技術の向上や情報交換などを目的に毎年開催されている。今年も本会をはじめ予防医学事業中央会傘下の都府県支部から、医師や検査技師、保健師、管理栄養士らが参加した。



今回の講演は、講師の荒木先生がインフルエンザによる自宅待機期間中だったため、電話の音声会場に流す形での講演となり、ご不便をおかけしました。荒木先生には、回復間もない時期に長時間講演いただいた感謝申し上げます。

お知らせ

第279回ヘルスケア研修会
5月30日(水) 14:16時
東京千代田区「星陵会館」

第279回ヘルスケア研修会が5月30日に開かれる。「ストレスチェックと働き方改革」その現状と課題をテーマに、メディカルトラスト事業部長の佐藤典久氏が講演する。

司会は、健康管理コンサルタントセンター幹事の小杉富美子氏。

参加費2000円。定員300人(当日先着順)。

「東京都先天性代謝異常等検査連絡協議会」

第2回 設立準備委員会が開催

新生児マススクリーニングは、先天性の代謝異常等を早期に発見し、乳幼児の健全な成長につなげることを目的とした国の事業である。本事業を実施する上で重要なことは、採血から検査結果の通知に至るスクリーニング全体の精度管理と、その維持向上を図ることだ。



同委員会では今年度中に趣意書を作成し、東京都医師会、東京産婦人科医学会、東京小児科医学会、東京都医師会、東京都地方会及び本会の連名で東京都に提出する予定だ。

ALCA だより 金子昌弘 本会保健会館 CTによる 検診の将来

CTでの肺がん検診は、CTさえあればどの施設でも行えますが、専門の技師が安心して検査を受けられるようにすべきだと考

や医師のいない施設では、画質や被曝量の問題のある撮影や、誤った診断が行われる心配があります。そこで同学会では、撮影条件などの一定の基準を満たした施設を認定し、受診だけでなく肺気腫などの診断にも有用であることが示されています。

一方で、肺がんCT検診が進めば、より早期の異常を発見できるようになると期待されています。

人間ドック (公財)東京都予防医学協会 体と向き合う時間をつくりませんか

本会の人間ドックは5つの特色に加え、スピーディーで正確な検査を実施します。



5つの特色

マルチスライスCTで高品質の健康チェック

受診者全員に保健相談を実施

ワンフロアでスムーズな検診を実現

管理栄養士考案のお弁当ランチをご提供

大腸内視鏡検査などアフターフォローも充実

健康的な毎日を送れるよう、精度の高い検査と心をこめたサービスで、皆様の健康づくりをサポートいたします。

ご予約電話 0120-128-177
携帯電話からは 03-3269-2190
(受付時間/月~金 9:00~17:00)

東京 予防医学 検索 クリック
http://www.yobouigaku-tokyo.or.jp

予約前後に健康保健組合様へのお手続きが必要な場合がございます。健康保健組合様の指示に従い、お手続きをお済ませください。

